

宜野湾市

地域学校 協働本部名

宜野湾市地域学校協働本部

小学校9校

(普天間小学校、普天間第二小学校、大山小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、志真志小学校、宜野湾小学校、長田小学校、はごろも小学校)

中学校4校

(普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校、宜野湾中学校)

◆代表的・特徴的な活動

- ・新1年生給食配膳の補助
- ・家庭科でのミシン操作補助
- ・タイモ作り見学
- ・環境講話
- ・平和学習
- ・キャリア教育の企画・支援
- ・エイサー指導映像撮影
- ・1年生プール授業見守り
- ・着衣水泳
- ・朝の健康観察
- ・福祉体験学習
- ・校医検診の補助
- ・学校行事補助
- ・体カテスト補助
- ・宿泊学習補助
- ・校内花壇・畑耕作
- ・ボランティア育成クラス
- ・島くとうば教室
- ・着付け体験
- ・学習支援



タイモ作り見学(大山小)



災害対策講話(はごろも小)



平和学習(嘉数中)



着付け体験(宜野湾中)

◆工夫していること

- ・コーディネーター連絡会を実施し、コーディネーター間の情報交換が図れるよう努めている。
- ・SNSを活用し、円滑な情報共有が図られている。
- ・コーディネータースキルアップのため、国・県などから紹介されたオンライン講座・研修をコーディネーターに案内している。



コーディネーター委嘱状交付式

◆成果と課題

- 【コ】コーディネーター間においてSNS等の活用により情報共有がスムーズになっている。また、推進員間のサポートも増えてきている。
- 【コ】一部の学校では、コーディネーターがボランティア育成活動をしており、少しずつ、ボランティアが広がっている。
- △【学校・本部】コーディネーターの後任人材発掘に苦慮している。
- 【推・学校・本部】ボランティア活用が、少しずつ新型コロナの影響を受ける前に戻りつつあるように感じる。

石垣市

地域学校
協働本部名

石垣市地域学校協働本部
(白保中学校、富野中学校、川平中学校、大浜中学校、石垣中学校)

◆代表的・特徴的な活動

○ 学習支援【地域未来塾】の実施

【川平中学校未来塾】

- ・参加生徒数 8名 学習支援員2名
- ・毎週月曜日(数学)16:40~18:10
- ・ // 水曜日(英語)16:40~18:10

【富野中学校PTA未来塾】

- ・参加生徒数1名 学習支援員1名
- ・毎週水曜日(英語)15:30~17:30

【白保中学校未来塾】

- ・参加生徒数16名 学習支援員1名
- ・毎週土曜日 14:00~17:00

【大中未来塾】

- ・参加生徒数40名 学習支援員2名
- ・毎週土曜日 祝祭日 09:00~13:00

【石垣中学校未来塾】

- ・参加生徒数30名 学習支援員1名
- ・毎週土曜日又は日曜日 祝祭日09:00~13:00



◆工夫していること

○高校受験を目指す3年生の生徒に対して個別指導形式の(自学自習をベースとした)学習支援を行う。未来塾開始の際は生徒と個別面談を行い、本人の目標に沿ったアドバイスを行う。

(白保中学校)

○地域住民による英語を中心とした学習支援教室(英語検定受験対策)。

(富野中学校)

○学習支援員により、毎週月曜日は数学、水曜日は英語の学習を行う。

(川平中学校)

○高校入試対策学習。

(大浜中学校)(石垣中学校)

◆成果と課題

【課題】学習支援員の確保が非常に難しい。(未来塾全体)

【成果】未来塾の学習支援の募集を、学校側がPTAの方へお願いしたところ、人材の確保ができた。

【課題】定期テストなどの試験前は出席率が多いが、それ以外の時期は出席率が低い。(学習支援員)

【成果】前回のテストより、合計点数が60点以上上がった。(未来塾生徒)

【成果】未来塾へ通うようになって勉強の意欲や分からない所を明確に、それを直す習慣がつくことができた。勉強への意欲をもっともって受験まで頑張りたいです。(未来塾生徒)

浦添市

地域学校協働本部名

浦添中学校区地域学校協働本部（浦添中、浦添小、前田小）
仲西中学校区地域学校協働本部（仲西中、仲西小、浦城小、宮城小）
神森中学校区地域学校協働本部（神森中、神森小、内間小、沢岬小）
港川中学校区地域学校協働本部（港川中、牧港小、港川小）
浦西中学校区地域学校協働本部（浦西中、当山小）

◆代表的・特徴的な活動

- ・サトウキビ栽培を行い「ウージ・エコフェスティバル」で環境問題について考えた。
- ・わくわく防災教室でPTAと関係期間が連携し防災について学んだ。
- ・職員、生徒が地域自治会長の顔をわかるように、顔写真一覧表を作成した。
- ・地域の方々の協力を得て週1回花壇の手入れを行っている。
- ・地域の方々の協力を得て、キビ刈りからの黒糖作りを体験した。
- ・地域から稲の提供を受け、稲の成長観察を行った。
- ・社会科で校区の自治会長から、写真による地域の移り変わりを学習した。
- ・地域自治会、海の自然案内の専門家と連携して海の自然観察と環境学習を行った。
- ・コロナ感染防止対策をとり、ベルマークの活動を家庭でやってもらった。
- ・地域の方、PTA専門部が連携して3年ぶりに読み聞かせを再開した。
- ・地域、PTAが連携して、児童生徒の登下校の見守り（立哨）をしている。
- ・地域にある戦争遺跡、壕、慰霊碑等を地域の方に案内してもらい平和学習を行った。
- ・島くとうば、琉舞、三線、花、和太鼓、空手のクラブ講師を地域の方が行っている。
- ・オオゴマダラの観察小屋を作り、成長の流れを観察できるようにした。
- ・職業人講話を卒業生にお願いした。生徒達は身近に感じ向上心につながった。
- ・週1回、放課後学習支援を行っている。終了後軽食を配布している。
- ・PTA、児童センター職員で校内整備を3年ぶりに行き、校内が明るくなった。
- ・朝の検温チェックを地域の方々の協力を得て行っている。
- ・婦人会が不登校児童生徒や特別支援生徒と年2～3回調理実習をし交流をしている。

◆工夫していること

- ・感謝集会へ地域の方々を招待し全校生徒で感謝の気持ちを伝えている。
- ・職員間でボランティア活動を共有し、感謝を伝える場が持てるようにしている。
- ・地域ボランティアの方への協力依頼や学年からの要望等は地域コーディネーターを通して行うようにしている。
- ・必要に応じて職員と地域コーディネーターの情報交換を行っている。



↑前田小 総合
「サトウキビ栽培」

◆成果と課題

- 【コ・学】自治会長の顔写真一覧表のおかげで校区内自治会長の顔がわかり連携が取りやすくなった。
- 【学】地域の方々と活動を通して関わる中で、進んで挨拶する子が増えた。
- 【コ・学】地域コーディネーターと連携を密にし、協力体制が一層充実した。
- 【学】ボランティアが入ることで児童の安全面が守られ、コロナ禍の中だったが水泳学習や探検等の活動もできるようになった。
- △【コ】ボランティアの高齢化が進んでいる。新たな地域人材確保に苦慮している。
- △【コ・学】子どもの見守りや学習支援など常にボランティア配置ができる体制を整えたい。
- 【コ・学】地域の方が朝の挨拶運動により、丁寧に挨拶する児童が増えた。また進んでゴミ拾いをする児童が増えた。

名護市

地域学校 協働本部名

緑風学園学校運営協議会、他9学校運営協議会
(久志小学校、屋我地小学校、大北小学校、名護小学校、羽地小学校、稲田小学校、
真喜屋小学校、東江小学校、瀬喜田小学校、大宮小学校、屋部小学校、安和小学校、
久辺小学校、久志中学校、屋我地中学校、名護中学校、羽地中学校、東江中学校、大
宮中学校、屋部中学校、久辺中学校)

◆代表的・特徴的な活動

【学習】

- ・フィールドワークによる地域学習
- ・地域を歩いての平和学習
- ・沖縄高専学生講師によるプログラミング学習
- ・羽地ダムカヤック水源学習
- ・移民国際学習 ・平和学習 ・稲作学習
- ・課題解決学習及び商品開発
- ・福祉体験学習 ・体育 ・音楽の授業支援

【安心・安全】

- ・朝の交通安全指導、見守り、登校時安全指導
- ・PTA、地域による環境整備作業 ・校区内パトロール
- ・交通安全教室・避難訓練（地震・津波）

【キャリア教育】

- ・ジョブシャドウイング ・職場体験 ・マナー講座 ・職業人講話
- ・語れ一会 ・ライフプラン学習 ・租税教室 ・金融教育

地域学習の様子

【その他】

- ・朝の読み聞かせ ・地域の協力による部活動指導 ・サイエンスクラブ
- ・畑づくり



◆工夫していること

- ・総合的な学習の時間では、各学級担任や担当がゲストティーチャーと事前の打ち合わせ等をして実施
- ・放課後見守りは、学校と取り組んでいる保護者の方との連携を密にし、実施
- ・年度途中でも日程を入れられる様、余裕を持たせた教育課程にした
- ・CS推進を図るため、中学校区をまたいだ「連絡会（PTA専門部会）」を組織化
- ・学校での子供たちの様子をできる限り多く地域・関係者に伝える
- ・次年度も継続して協力・協働頂ける様にするための計画早期見直し
- ・交流学習の打ち合わせにオンラインでを活用、取り組み内容を共有

◆成果と課題

- 【学校】コロナ禍ではあるが、感染症対策を講じることで、昨年度以上の活動を行うことができた。
- 【学校】学校と地域学校協働活動推進員との連絡調整を随時行うことで、保護者が積極的に学校に来校するようになり、活動の方向性を確認しながら取り組めるようになった。
- 【学校】学校行事における地域の方の協力人数の増加
- △【コ】地域人材リストの更新
- △【教委】全中学校区への推進員の配置
- △【学校】どの教室も使われているため、地域の方を招く教室がない

糸満市

地域学校協働本部名

兼城中学校区地域学校協働本部(兼城小・兼城中)、糸満中学校区地域学校協働本部(糸満小・糸満南小・糸満中)、高嶺中学校区地域学校協働本部(高嶺小・高嶺中)、三和中学校区地域学校協働本部(真壁小・喜屋武小・米須小・三和中・大度分校)、西崎中学校区地域学校協働本部(西崎小・光洋小・西崎中)、潮平中学校区地域学校協働本部(潮平小・潮平中)

◆代表的・特徴的な活動

- ・兼城の歴史、文化について学ぶ事を目的に、同中学校OGで元市史編集担当課長の方を講師にお招きして講話とフィールドワークを行った(兼城中)
- ・ご当地ヒーローによるマナー講座。その後3種の職業の方からお話をいただきましたがヒーローの出現がアイスブレイクとなり、耳を傾ける良い雰囲気となった(糸満中)
- ・まちづくりワークショップ。市内在住のファシリテーターの方を講師にお招きして実施した(高嶺中)
- ・みそあじ運動(身なり、掃除、挨拶、時間、の略)。各地域で生徒が定期的に清掃活動をしている(三和中)
- ・ミシンボランティア。多くの日程にご協力いただき、授業内で完成することができた(西崎小)
- ・マナー講座。南部商業高校OA経理科3年生による出前授業を活用した(潮平中、高嶺中)
- ・職業人インタビュー。ゲームクリエイター/介護士/航空整備士/芸人/助産師/警察官/ホテル/漫画家/看護師/造船/プログラマー/大工/アナウンサー/農家など多くの方々にご協力いただいた(潮平小、真壁小)。



地域学習(兼城中)



マナー講座(糸満中)



まちづくりワークショップ(高嶺中)

◆工夫していること

- ・先生方との事前調整を密に行い、ニーズに合ったボランティアをマッチングできるようにする。
- ・ボランティアや地域の協力者のリスト化(見える化)し、継続的に支援して頂けるような体制づくりを行っている。
- ・他校区のコーディネーターとの連携及び情報交換。
- ・今後も継続して協力していただきたいので、講師側への配慮にも気を付けている。
- ・細かい打ち合わせができるように余裕のある日程調整を行った。
- ・メールを活用することで気軽に質問、確認ができた。

◆成果と課題

- 【コ】ボランティアの皆さんから学校と関わる良い機会になったと感想を頂いた。
- 【コ】ボランティアや地域の協力者のリスト化を開始した。
- 【コ】講師としての授業代行には教育委員会から交通費支給があるため、ご年配の方々への門戸が広がった。「やりがいがあるがバス代がかかるため活動に迷いがあった。いろんな活動が出来そうだね。」「応援の気持ちが伝わり嬉しい。頑張るね。」といった声が届いている。
- 【コ】授業だけの関係にとどまらず、中学生から高校生へのお礼状に対するお礼のお礼状のやり取りなども行われた。
- △【コ】中学校側ではメールの対応ができず、打ち合わせややり取りに時間がかかり、高校側のストレスとなっていた。
- △【コ】学校のニーズを拾う仕組みがあるといい(気軽に相談できる環境作り)

沖縄市

地域学校協働本部名

越来小学校地域学校協働本部、他23地域学校協働本部

(コザ小学校、中の町小学校、安慶田小学校、諸見小学校、島袋小学校、山内小学校、北美小学校、美里小学校、美東小学校、宮里小学校、高原小学校、室川小学校、美原小学校、泡瀬小学校、比屋根小学校、越来中学校、コザ中学校、山内中学校、美里中学校、美東中学校、安慶田中学校、宮里中学校、沖縄東中学校)

◆代表的・特徴的な活動

- ・食育活動（えていぶる畑・島っ子菜園・島っ子みそ作り）〈島袋小学校〉
- ・自治会クリーンデーへの参加〈山内小・山内中〉
- ・各自治会からの協力で体育祭に向けての3年生へ着付け教室を実施〈安慶田中〉
- ・琉球大学学生ボランティアを中心とした数学学習支援「土曜塾」〈美東中〉
- ・全国統一模試や漢字検定等の試験監督〈宮里中・越来小・コザ小〉
- ・読み聞かせ ・交通安全指導 ・環境整備
- ・3年生受験対策の為に「マナー講座」、「模擬面接」の講師や面接官を地域の方へ依頼。
- ・朝の丸付け、プール見守り等の学習補助
- ・宿泊学習、合唱コンクール、遠足等の校外学習補助
- ・各地区青年会によるエイサー指導
- ・家庭科授業補助（ミシン指導、調理実習、着物の着付け指導等）



〈プール授業見守り〉



〈エイサー地方ボランティア〉



〈土曜塾〉

◆工夫していること

- ・ボランティア新聞「ENJOYボランティアin美東中」を作成し、保護者へ配布・ホームページへアップし、活動報告と啓蒙活動を行っている。〈美東中〉
- ・市内中学校8校で、互いに学校訪問をして、学校行事等の情報交換を行い、各学校のボランティア確保に役立っている。〈中学校8校〉
- ・感謝集会へボランティアの方たちを招待し、児童手作りの感謝状をプレゼントし、日頃の感謝を伝えている。
- ・自治会での老人会等で琉舞クラブの演舞を披露したりと、学校と自治会との交流を深め、子ども会、自治公民館に係る方々とも連携し、自治公民館での子ども達の居場所作り、自治公民館へ気軽に出入りできる環境づくりに努めている。〈中の町小学校〉

◆成果と課題

- 【学】ボランティアの皆さんが教育活動に積極的に関わって頂くことにより、子ども達へのきめ細かな支援に繋がっている。
- 【コ】メーリングやSNSを利用する事で、ボランティア活動への保護者の参加が増えた。
- 【学】交通安全指導ボランティアの方々の指導で、進んで挨拶をしたり、横断歩道を渡る際のお礼・お辞儀が自然とできる生徒が増えた。
- △【コ】交通安全指導ボランティアが高齢な方が多いため、保護者や若いボランティアも増やしていきたい。
- △【本】コロナの影響で今も活動が縮小・制限され、ボランティア募集をしても地域の人材がなかなか集まらない。

豊見城市

地域学校 協働本部名

豊見城市地域学校協働本部

市内8小学校・3中学校

(上田小、長嶺小、座安小、豊見城小、伊良波小、とよみ小、豊崎小、ゆたか小、豊見城中、長嶺中、伊良波中)

◆代表的・特徴的な活動

○クラブ活動の講師（三線、折り紙、書道、昔遊び、しまくとぅば、英語、中国語、サッカー、陸上、ダンス、手芸、イラスト、五色百人一首、ウクレレ、手話、和太鼓、琉球舞踊、空手、エイサー）

○地域講話（豊見城市を知る）

○平和講話

○ミシン指導

○水泳見守り

○読み聞かせ

○陸上指導

○市内巡りガイド

○町たんけん受け入れ

○環境美化（花壇の手入れ等）

○朝の交通安全指導

○職業講話

○市の特産物に関する講話

○書写指導、書初め会指導

○海洋ごみに関する講話

○じゃがいも・野菜植え付け指導

○箏の体験学習

○しまくとぅば講話

○エイサー指導

○茶道体験

手話指導（豊見城小学



茶道体験（豊見城中学校）



◆工夫していること

【学校】

○学年で話し合って活動時間を調整している。

○事前打ち合わせを行っている。そうすることで学校側もボランティア側もスムーズに活動に取り組んでいる。

○地域教材や専門性が必要な学習は、ボランティアを活用し学習効果を高めている。

○コロナ対策を行いながら活動している。

【本部】

○各種団体への周知活動と、公民館の掲示板を活用した広報活動を行った。

○学校とボランティアとの調整を綿密に行った。

○教育委員会主催のボランティア講演会及び感謝の会を開催した。

◆成果と課題

○【学】ボランティアの方々の、学校を支援しているという意識がとて高まった。

○【学】専門的な指導のおかげで学習効果が高い。

○【学】児童の意欲向上につながっている。（クラブ活動、各学年の学習活動）

○【学】多種にわたるボランティアの方々ののおかげで、学習活動の幅が増えた。

△【学】コロナ感染防止対策を講じた上でのボランティア活用の推進

△【学】事前打ち合わせの時間を確保するのが難しい。

○【ボ】子どもたちの喜び顔が見られて良かった。いつも子どもたちから元気もらっている。

○【ボ】自分の活動を子どもたちに伝える機会があって嬉しい。

○【本】それぞれの学校の活動内容を共有することで、学校からの依頼が増え、幅が広がった。

△【本】内容によってボランティアを多く確保するのが難しく、依頼に応えられない場合がある。

うるま市

地域学校 協働本部名

伊波小学校区地域学校協働本部、他24地域学校協働本部(宮森小学校、城前小学校、与那城小学校、南原小学校、勝連小学校、平敷屋小学校、津堅小中学校、天願小学校、あげな小学校、田場小学校、具志川小学校、兼原小学校、高江洲小学校、中原小学校、赤道小学校、彩橋小中学校、石川中学校、伊波中学校、与勝中学校、与勝第二中学校、あげな中学校、具志川中学校、高江洲中学校、具志川東中学校)

◆代表的・特徴的な活動

- 読み聞かせ
- 朝の検温活動
- 環境整備
- 登下校の交通安全指導
- 放課後子ども教室
- クラブ・部活動指導(手芸・バスケット・バレー・野球)
- お招き会(幼稚園児、保育園児と一年生との交流会)(伊波小)



朝の検温



環境整備の様子



◆工夫していること

- 自治会や保護者等にボランティア募集の案内配布をしている。
- PTAや地域の方に協力してもらい、年に3、4回美化作業を行っています。
- PTAが主催の地域とふれあう夏祭りは中止になりましたが、コロナの状況が軽減されてきているので、今年度は、年明けに新春鐘撞会を開催予定しています。

◆成果と課題

- 年に2、3回運営協議会を開催し、学校、保護者、地域と情報交換をしている。
- 今年度は、読み聞かせをビデオ放送にするなど、昨年までできなかったことが少しずつ出来るようになってきた。
- △今年度も、ボランティアさんを入れての活動に制限がありましたが、徐々に軽減されてきているので、次年度は、もっと幅広い分野のボランティアさんの確保が必要だと思う。

宮古島市

地域学校
協働本部名

宮古島市地域学校協働本部(平良第一小学校、南小学校、北小学校、久松小学校、狩俣小学校、伊良部島小学校、平良中学校)

◆代表的・特徴的な活動

- ・ 登下校安全指導
- ・ 朝の読み聞かせ
- ・ 放課後子ども教室



◆工夫していること

学校と十分に話し合いを持ち、また放課後子ども教室に参加し、現場の声を聞くよう務めている。

◆成果と課題

【教委】地域コーディネーターを増やし、もっと地域の方と学校をつなぐ必要がある。

【コ】放課後子ども教室を実施したくてもできない学校について、ボランティアの確保及び実施場所を確保をする必要がある。

南城市

地域学校 協働本部名

南城市地域学校協働本部
(玉城中学校、知念中学校、久高中学校、佐敷中学校、大里中学校
玉城小学校、船越小学校、百名小学校、知念小学校、久高小学校
馬天小学校、佐敷小学校、大里南小学校、大里北小学校)

◆代表的・特徴的な活動

- ・玉城地区、知念地区、佐敷地区、大里地区にあるそれぞれのボランティア組織と学生ボランティアが、コーディネーターと連携し学校支援を行う
- ・授業、放課後、早朝などの学習支援（採点補助、個別指導）
- ・PTAを中心とした読み聞かせ
- ・ウクレレ、琉舞、折り紙、空手、しまくとぅば等のクラブ活動指導者の配置
- ・ボランティアが自然案内や市内史跡等、地域案内を行う総合学習や環境教育
- ・平和学習 ・書初め指導
- ・学校内外の花壇、菜園、農園などの環境整備
- ・朝の交通安全指導 ・野菜作り指導
- ・運動会に向けてのエイサー指導（馬天小）
- ・外国籍児童を含む、児童・生徒への寄り添い支援
- ・遠洋漁業水揚げ見学、朝市のせり体験等（佐敷小）
- ・地域の原生種「キバナノヒメユリ」を育てよう（知念小）



◆工夫していること

- ・公式LINEアカウントを活用してボランティア募集を行い、全地区に人材共有を行っている。
- ・ボランティア証明書の発行を導入し、学生の参画が増えるよう工夫している。
- ・ボランティアに入る際の心得を作成し、ボランティアの方々へ配布している。
- ・学校側とボランティアの希望をきちんと把握し、双方の希望に合うよう適切にコーディネートできるよう心がけている。
- ・PTAや学生など幅広い人材が学校と関われるように道筋を作ることも意識している。

◆成果と課題

【コ】 コーディネーター同志で定期的な情報交換を行うことでコーディネーターの役割や意識を高めることができた。それぞれの地域コーディネーターがボランティア団体と連携し、学校支援を充実させることができた。今後はボランティア団体だけでなくとどまらず、PTAや保護者との連携にも力を入れていく。

【学校】 ボランティアの協力を受けて、学習支援や環境整備など教員の負担軽減にもつなげることができた。今後はCS始動に向けてコーディネーターも会議に立ち合い、さらに連携しやすくなるよう工夫していく。

本部町

地域学校
協働本部名

本部町地域学校協働本部
(本部小学校、本部中学校、上本部学園、瀬底小学校、伊豆味小中学校)

◆代表的・特徴的な活動

【本部小学校】

- 平和学習の補助
地域の戦争体験者による講和を実施した。
- 朝の登校見守り
地域の老人会と協力し、登校時の交通安全活動を行った。
- 学習発表会の指導（三線）
地域ボランティアが三線を指導し、学習発表会で発表することができた。



平和学習の事前調整

【本部中学校】

- 放課後の体験活動
放課後の調理くらぶ、手芸くらぶを地域ボランティアが実施した。
- 朝の登校見守り
地域の団体（渡久地警防団）と協力し、登校時の交通安全活動を行った。
- 学校行事の補助
地域ボランティアが各種健康診断の補助や運動会の着付け係りなどの役割を担った。



放課後の体験活動

【瀬底小学校】

- 学習発表会の指導（組踊、三線）
地域ボランティアが組踊や三線を指導し、学習発表会で発表することができた。
- 読み聞かせ
地域ボランティアを募り読み聞かせを実施。



学習発表会

◆工夫していること

地域コーディネーター、放課後子ども教室コーディネーター等で構成するグループLINEを活用した。他校の活動の様子等もタイムリーに共有することができた。

◆成果と課題

○【コ】学習発表会で地域の伝統芸能（豊年祭の踊りや三線）を発表した。これをきっかけに指導に携わった地域の方と子ども達との繋がりを築くことができた。子ども達は地域の伝統芸能への関心を高める機会となった。

△【教委】ボランティアが固定化している。新しいボランティアを発掘するため、周知活動に取り組みたい。

恩 納 村

地域学校
協働本部名

恩納村地域学校協働本部

恩納村立 うんな中学校
恩納村立 安富祖小学校、恩納村立 恩納小学校
恩納村立 仲泊小学校、恩納村立 山田小学校

◆代表的・特徴的な活動

【地域との連携】

- ・稲作プロジェクト
- ・習字の先生
- ・お菓子作りサポート
- ・職業人講話
- ・平和講演
- ・マイクロバス運転手
- ・サンゴ観察
- ・マナー講座
- ・リース&しめ縄作り



【村職員との連携】

- ・環境学習フィールドワーク
- ・平和学習フィールドワーク
- ・まちたんけん
- ・歌碑めぐり
- ・歴史ロード散策
- ・干潟観察
- ・河川生きもの観察
- ・地層見学
- ・役場ロビーでの販売体験活動



◆工夫していること

- ・学習に係る活動は、一つの学校の取り組みを他にもお知らせするなどしている。
- ・校外学習時のバス運転手は、学校と連携し保護者含めて依頼できるようにしている。
- ・メール、電話、FAXなどそれぞれの先生が連絡を取りやすい方法に合わせて連絡手段を変えている。

◆成果と課題

- 【コ】地域のボランティアさんが学校に入れるようになり、これまでの活動から発展した取り組みができた。
- 【学】地域の方が関わって下さることで学校に活気が出た。地域とコミュニケーションをとるいい機会になっている。
- 【コ】行政が進めている地域特有のSDGs活動を推進するために、村職員が学校に関わる機会が多くなっている。
- 【ボ】楽しく活動している。自分ができることであればいつでも子どもたちのお役に立ちたい。
- 【コ】コロナで延期になった取り組みも多く、日程再調整に時間がかかった。

読谷村

地域学校 協働本部名

読谷中学校地区地域学校協働本部

(構成学校) 渡慶次幼稚園・読谷幼稚園・喜名幼稚園・渡慶次小学校・読谷小学校・喜名小学校・読谷中学校

古堅中学校地区地域学校協働本部

(構成学校) 古堅幼稚園・古堅南幼稚園・古堅小学校・古堅南小学校・古堅中学校

◆代表的・特徴的な活動

- ・平和学習の戦争体験講話
- ・新入学準備（教科書袋入れ・靴箱等のネーム張り等）
- ・手洗い場のコンクリート修繕
- ・全国学力状況調査（国・数・理）データ入力作業
- ・視力、歯科、内科健診の児童整列補助
- ・運動会用エイサー及びはちまき衣装作成、玉入れかごペンキ塗り
- ・早下校時の交通安全指導
- ・不登校寄り添い支援
- ・高校入試に向けた模擬面接や職場体験支援
- ・補修時間のマル付け作業
- ・プールサイドの清掃
- ・高校入試模擬面接（推薦・一般入試）



◆工夫していること

- ・ボランティア活動がスムーズに取りかかれるように活動推進員は事前調整に努めている
- ・ボランティア講座の開催及び事業周知を行い、地域人材の掘り起こしに努めている
- ・各学校で参考になりそうな事例をご案内し、環境整備に繋げている
- ・定期的に学校との情報交換等を行い、ニーズの把握とマッチングを学校と連携を図り行っている
- ・ボランティア登録の呼掛けを行い、人材確保を行う

◆成果と課題

- 【学校】 ・コロナ禍で工夫をし、学習支援の補助などや環境整備が行え、子ども達の学習環境が整った
- 【ボ・推進】 ・子ども達の為の活動ができた事はよかった
- 【本部】 ・講演会が開催できた
- △【本部】 ・CSとの一体推進を行う連携を図る

嘉手納町

地域学校
協働本部名

屋良小校区地域学校協働本部、嘉手納小校区地域学校協働本部、嘉手納中学校校区地域学校協働本部

◆代表的・特徴的な活動

嘉手納中

- ・ マナー講話・職場体験(2学年)
- ・ ミシン指導ボランティア(2学年)
- ・ 着付けボランティア(体育祭)(3学年)

嘉手納小

- ・ プールの授業【水泳指導】
(増進センタープール指導員)



ミシン指導ボランティア



水泳指導(プールの時間)

着付けボランティア



職場体験(自動車整備)



茶道を通してマナーを学ぶ

◆工夫していること

嘉手納中

- ・ マナー講話・職場体験では、保護者(PTA)から人材を探し、卒業後も地域人材として学校に関わってもらえるよう、意識作りをしている。
- ・ エイサー指導ボランティア(ゆかた借用)では、各自治会へ依頼をし、敢えて地域を巻き込む事で情報交換を行い地域と学校の連携作りを意識しました。

各校コーディネーター

- ・ 社会教育課の協力の下、各校コーディネーターの情報交換会に参加(ミシン指導ボランティアでは、過去に嘉手納小学校で活用したボランティアの方を紹介して頂きました。)

◆成果と課題

嘉手納中

- ・ 卒業生保護者や在学生保護者が職場体験の講師ボランティアをして頂いた事で、校外での見守る目が増えた。多彩な職種を身近に体験出来、職への関心の幅が広がった。
- ・ ミシン指導ボランティアを活用したことで、着付けボランティアに繋がる方もおり、ボランティアの幅が広がった。また、保護者にも募集をかけた事から、「わが子のために是非協力したい」と思っている保護者が多い事を知った。

嘉手納小

- ・ 年齢に合わせた適切な水泳指導ができた。
- ・ 他の保護者から「自分の子供のクラスにもお願いしたかった」という声があった。ボランティアの可能な日程の範囲内をうまく利用したい。

北谷町

地域学校協働本部名

北谷町地域学校協働本部
(北谷小学校、北玉小学校、浜川小学校、北谷第二小学校、北谷中学校、桑江中学校、県立北谷高等学校)

◆代表的・特徴的な活動

- 地域未来塾（学習支援）プログラミング教室、サマースクール（夏休み）
- 家庭科実習（エプロン作りでのミシンサポート）
- 社会科見学引率
- 平和学習（地域講師による講話）
- 専門家を招いての音楽鑑賞（琴）
- 朝の交通安全見守り
- 読み聞かせボランティア
- 地域の高齢者宅へ花鉢の配布
- 公民館祭り等への参加
- 通訳ボランティア



◆工夫していること

- ・児童生徒一人一人、無理なく楽しく学習できる環境づくり。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、消毒、マスク、換気の徹底。
- ・支援員や児童同士それぞれ名前を覚えられるように教室内では名札をつける。
- ・地域学校協働活動推進員定例会、講座、研修会に参加し情報交換に努めている。
- ・各自治会に、毎月「学校だより」を配り学校の取組や児童の活動を紹介。
- ・「公民館だより」を校内に掲示して地域の情報を共有できるようにしている。
- ・ボランティア登録用紙を各家庭に配布し、募集の周知をしている。
- ・海外にルーツを持つ生徒がスムーズに授業が受けられるよう複数の通訳ボランティアで対応している。

◆成果と課題

- 【学 校】 多様な視点からの学習支援を受けることで楽しく学習することができている。
- 【学 校】 学年やクラスが違って児童がお互いに声を掛け合い各自の課題に取り組んでいる。
- △【学 校】 地域の人材確保と地域連携をもっと進めたい。
- 【学 校】 活動場所の固定により生徒への周知につながっている。
- 【推進員】 各学校に推進員が配置されたことにより、先生方とのコミュニケーションが増え連携が取れやすくなった。
- △【推進員】 学習支援員やサポーターの研修会や地域の方々との情報交換会を持ちたい。

北中城村

地域学校
協働本部名

北中城村地域学校協働本部
北中城中学校 北中城小学校 島袋小学校

◆代表的・特徴的な活動

キャリア学習支援(北中城中学校)



エイサーの衣装作成(島袋小学校)



個別学習支援(北中城中学校)

- ・学生・地域の方・退職教員による
個別の学習支援

特別支援クラスの補助(北中城小学校・島袋小学校)

- ・ひまわり支援ボランティアグループがそれぞ
れの出来る時間に特別支援クラスを補助

教材園の整備(北中城中学校、島袋小学校)

- ・ユシリ隊による教材園整備
・ジャガイモの植え付け指導

バスの運転(北中城中学校)

- ・生徒の部活動送迎のためのバスの運転

◆工夫していること

- コーディネーターの協力体制
- 村内各種団体との連携
父母教師会 読み聞かせサークル ユシリ隊 学生ボランティアチーム「はぴち
る」
- ボランティアを依頼しやすい雰囲気作り(学校へ足を運ぶこと)
- 気持ちよくボランティア活動をしてもらえるように声かけ

◆成果と課題

成果

- ユシリ隊や、学生ボランティアチーム「はぴちる」との関わりができ、学校の依
頼にも対応しやすくなった。
- 個別の学習支援をしてもらうことで、個々のレベルの指導ができ、学習意欲が向
上。
- 面接練習の面接官を役場の職員にお願いすることで、学校と役場の関わりができ
た。

課題

- 地域とつなげたい生徒の関わらせ方の工夫

中城村

地域学校
協働本部名

中城中学校地域学校協働本部、中城小学校地域学校協働本部
津覇小学校地域学校協働本部、中城南小学校地域学校協働本部

◆代表的・特徴的な活動

- ・中城城跡ガイド（中城小学校、津覇小学校）
- ・特別支援学級児童の生活支援（中城南小学校）
- ・外国籍児童の生活支援（中城南小学校）
- ・自然体験学習の安全見守り（中城南小学校）
- ・校庭枝打ち作業（中城小学校）
- ・グランドゴルフ交流会（中城小学校）
- ・職業人講話（中城中学校）
- ・不登校児童の職場体験（中城中学校）
- ・バスの運転手（中城小学校、津覇小学校、中城南小学校）



中城城跡ガイド（津覇小学校） 校庭の枝打ち作業（中城小学校） 外国籍児童の生活支援（中城南小学校）

◆工夫していること

- ・2週間に1回、コーディネーターと生涯学習課職員でミーティングを行い、情報交換をしている。
- ・学校の現状を把握し、意見を汲み取りやすくするため各学校にコーディネーターを1人配置している。
- ・地域との連携を密にするため、定期的に自治会の訪問を実施している。
- ・コーディネーターから先生方に各学校の取組みを共有しながら、活動の提案をしている。

◆成果と課題

- 【本部】コーディネーターと生涯学習課職員でミーティングを行うことで課題改善もスムーズにできた。
- 【コ】定期的に自治会の訪問を行うことで、地域の子どもたちのサポートを連携して実施することができた。
- 【学校】子どもたちの様々な学習・生活支援を行うことで、先生方の負担軽減に繋げることができた。

西原町

地域学校
協働本部名

西原町地域学校協働本部(坂田小学校、西原小学校、西原南小学校、西原東小学校、西原中学校、西原東中学校)

◆代表的・特徴的な活動

- 地域、保護者ボランティアによる交通安全指導
- 朝の読み聞かせ
- 裁縫補助(ミシン教室)
- 朝ドリルの丸付け
- 環境整備(花壇の手入れなど)
- 学習支援(平和学習)
- 学校行事支援(避難訓練の交通誘導、運動会演舞指導)
- ボランティア外部コーチによる部活動指導



◆工夫していること

- ☆地域学校協働活動推進員の意見交換、情報交換の機会を設けている。
- ☆学校、自治会、民生員、部活動指導員、学童との情報交換。
- ☆ボランティアさんへ日頃の感謝を伝える機会を提供。
- ☆ボランティアさんが参加しやすいよう場所の確保。



◆成果と課題

◎成果

- 児童の登下校の安全確保されている。
- 地域、保護者にボランティア活動が定着しつつある。

◎課題

- まだコロナ過にあり、十分な活動はできなかった。
- 教職員に地域コーディネーターの役割を周知させる。
- 地域ボランティアの高齢化、子育て世代のボランティア数を増やしたい。

与那原町

地域学校
協働本部名

与那原町地域学校協働本部

構成学校:与那原幼稚園・与那原東幼稚園
与那原小学校・与那原東小学校
与那原中学校

◆代表的・特徴的な活動

○代表的・特徴的な活動

【小学校】

- ・バス学習
- ・パッカー車見学
- ・ミシン指導
- ・稲藁の贈呈式
- ・福祉講話／福祉体験
- ・平和学習
- ・園芸ボランティア



(与那原東小学校 稲藁贈呈式)



(与那原東小学校 バス体験)

【中学校】

- ・綱曳講話
- ・職業人講話
- ・福祉講話／福祉体験



(与那原中学校 綱曳講話)

◆工夫していること

- ・地域の方とのつながりを作るために、コーディネーターが老人会や婦人会といった町内社会教育団体の定例会や区長会へ伺いあいさつをしている。
- ・近隣市町村のコーディネーターさんとの連携を図り情報交換を定期的に行うことで、良い事例を参考に学校側へ提案を行っている。
- ・職業人講話については、生徒のニーズを把握し、より興味を持てる講話になるよう職業選定を行うなど工夫している。

◆成果と課題

【成果】

学校だけでは実施できない体験や講話を学校のカリキュラムとして導入することで児童生徒の視野の広がりにつながるのとあわせて、地域と連携することで地域のことを知ることにもつながり、参加する地域講師の方も生徒から元気をもらえる。

【課題】

スタッフの高齢化が進んでおり、PTAや子育て世代といった若い世代との連携が課題となっている。定期的に必要なスタッフの募集を行い、人材バンク的な感じで名簿への登録人数を増やしていく必要がある。

南風原町

地域学校
協働本部名

南風原町地域学校協働本部
(南風原中学校、南星中学校、南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校)

◆代表的・特徴的な活動

- 1 南風原中学校：1年総合学習「南風原×SDGs」8項目のテーマ別学習（講座やフィールドワーク）とプレゼンテーション講座
- 2 南星中学校：2年総合学習「弁護士講話と校則検討ワークショップ」
- 3 南風原小学校：4年音楽「太鼓の演奏鑑賞会」地域で太鼓演奏の活動をしている方々が様々な技法で迫力ある太鼓演奏を披露
- 4 津嘉山小学校：4年社会科「沖縄の文化を学習しよう」高校生が、組踊・南風原の芸能を実演し、児童は衣装の着付けや踊りの体験
- 5 北丘小学校：生活科「えがおのひみつたんけんたい(タイヤ屋)」町たんけんの代替として、地域店舗の方にお越しいただき、新・古タイヤの違いを確認
- 6 翔南小学校：5年総合学習「キャリア講話」6業種の講師による講話。パティシエ講師はケーキのデコレーションを実演



1 南風原中・プレゼンテーション



2 南星中・校則検討ワークショップ



3 南風原小学校・太鼓演奏鑑賞



4 津嘉山小・南風原高校郷土文化コースによる地域の伝統と文化



5 北丘小・新、古タイヤの違いを体感



6 翔南小・パティシエによる実

◆工夫していること

- 年度初めに町内小中学校の教職員と各種団体へ「学校応援隊はえばる」事業説明
- 事業周知と広報活動（町の広報誌掲載と壁新聞の発行、事業報告書の作成(冊子)、活動写真展示会、大学へのボランティア募集）
- 実行委員会、教頭連絡会、平和学習担当者連絡会、ボランティア懇親会の開催
- 自主研修会企画や、他市町村、関係団体と情報交換等
- 事務局とコーディネーターの月定例ミーティングの開催
- 積極的にオンラインを活用し事前打合せや授業を実施

◆成果と課題

- （学校）教職員だけでは成果を挙げにくい学習において、地域の優れた人材を確保し、専門的な知識や技術、指導法を教職員が学ぶ貴重な機会にもなっている。
- （地域）地域の伝統文化が継続的に授業に取り入れられている。
- （本）ホームページをリニューアルし、SNSを活用する事で広報活動が充実した。
- （本）ボランティア懇親会を再開することができた。
- （コ）教師、講師が協働し授業づくりを行った。
- （コ）県事業や自治体の出前講座・講師派遣事業等の活用。
- △（コ）授業内容によっては、講師の高齢化や新たな人材発掘が必要。

八重瀬町

地域学校
協働本部名

八重瀬町地域学校協働本部
(東風平中学校、具志頭中学校、東風平小学校、白川小学校、具志頭小学校、新城小学校)

◆代表的・特徴的な活動

- 講師の派遣
 - ・クラブ活動指導員(全小学校)
 - ・平和学習講話(全小中学校)
 - ・職業インタビュー(白川小、新城小)
 - ・職業人講話(東風平中)
 - ・総合学習支援(全小学校)
 - ・書道指導(東風平小、新城小)
- 校外学習の訪問先調整
 - 〈小学校〉
 - ・2年生活科まちたんけん(東風平小、新城小)
 - ・3年総合学習(全小学校)
 - ・4年総合学習(東風平小、白川小、新城小)
 - ・5年総合学習(白川小、東風平小)
 - ・6年総合学習(東風平小)
 - 〈中学校〉
 - ・1年総合学習(東風平中)
 - ・1年職場体験(東風平中)



◆工夫していること

・年度末～年度当初にかけて、各学校・各学年の新年度年間計画をヒアリングし、それに基づいた年間の調整計画を作成し活動のベースとしている。

◆成果と課題

○【コ】 職場体験・職業インタビューなどにおいて、特に企業・事業者との接点を構築することができ、来年度以降の活動における協力・協働も期待できる。
△【コ】 【本部】 各校が活動再開・拡大に転じたことから、業務量が当初見込みより多くなり、人員を増やしたにも関わらずコーディネーターの負担が増加している。
△【コ】 各校には年度当初に事業計画を提出してもらっているが、急な変更・追加の依頼が度々あり、ボランティア等との調整に支障をきたすケースがあることから、学校間・担任間で情報共有・調整を行う機会が必要。